



勝浦小HP QRコード



## 勝浦大運動会

～みんなで楽しく 心を一つに 最後まで走りきろう～

10月7日土曜日 爽やかな秋空の下で、勝浦大運動会を開催しました。本年度は、令和元年度以来久しぶりに、昼食を挟み午後まで実施する運動会としました。

多くの保護者、地域の皆さんに観覧していただき、ありがとうございました。皆さんの声援を受け、子供たちは、練習の成果を精一杯発揮することができました。

運動会では ○ 最後まで一生懸命行うこと

○ 協力したりルールを守ったりすること

○ 一人一人の役割をしっかりやり遂げること

○ 地域の皆さんに勝浦小学校の様子を見てもらうこと 等を目標に練習を重ねてきました。

子供たちが「精一杯やりきった」と思える運動会をめざしてきました。人は、それぞれ得意・不得意があり、学校で行う学習や運動など、できることや結果は決してみんな同じになることはありません。しかし、自分が決めた目標に向かって、一生懸命することはみんなが同じようにめざすことができます。

ダンスは恥ずかしい、難しいと思っている子がその気持ちを超えてみんなと一緒に踊ったこと、速くはないけれど一生懸命バトンをつないだこと、チームのために、これまでの練習の中でも一番の速さで走ったこと、全身疲れ切っているけれど、閉会式の話、姿勢を正して聞いたこと。一生懸命な姿は数限りなくありました。

そのどれもが運動会の成果であり、よい思い出となったことでしょう。一方で、途中で「もういいや」とあきらめたのであれば、教師が、保護者が「それではいけないと伝えていかなければいけない」と思ったところです。

保護者の皆さん、地域の皆さんの声援は、子供たちの行動の大きな後押しになりました。また、前日準備や当日の後片付けなどのご協力をいただく姿も、子供たちの目標となりました。ありがとうございました。



## 体育館横のトイレ改装

夏休みから改装していた、体育館横のトイレ改装が終了し、使えるようになりました。

コンクリートむき出しだった内装は、きれいに明るくなりました。トイレも洋式化され、子供たちも安心して使いやすくなると思います。

大人用のトイレも、併設しています。社会体育等で体育館を利用される場合にも使っていただくことができます。

なお、今回の改装で床にシートが設置されました。これに伴い、下靴（土足）での利用ができなくなりました。外で活動している場合にトイレを利用される場合は、スリッパに履き替えて利用してください。ご協力をお願いします。



## 主な行事予定

※ 現時点での予定のため、日時・内容の変更を行うことがあります。

10月		11月	
日曜	主な行事	日曜	主な行事
1日		1水	郷育カレッジ 浄瑠璃GT3,4年③④
2月	運動会係活動Ⅱ ※14:40下校	2木	全校朝会(保健・図書委員会) 人権・同和教育研修会交流会13:15下校
3火	運動会リハーサル ※全校13:15下校	3金	文化の日
4水	第4回PTA評議員会	4土	
5木		5日	
6金	運動会準備	6月	第5回PTA評議員会19:00
7土	大運動会	7火	おはようTuesday
8日		8水	浄瑠璃GT3,4年③ 音楽GT5, 6年②③
9月	スポーツの日	9木	加瀬SC8:15-12:15 特支社会科見学(空港・防災センター)
10火	宗像地区教職員研修会(13:15下校)	10金	委員会活動⑥
11水	稲刈り 食育学習4年 浄瑠璃3,4年	11土	土曜日授業(防災教育)福津市一斉防災訓練
12木		12日	
13金		13月	土曜日授業振替
14土		14火	
15日		15水	浄瑠璃GT3,4年③音楽GT5, 6年②③ 教育支援委員会16:00 寺子屋郷づくり16:00
16月	運動会 代休	16木	
17火	おはようtue(保護者)	17金	
18水	市教委学校訪問 浄瑠璃GT3,4年③	18土	
19木	寺子屋郷づくり 社会科見学4年小石原	19日	
20金	社会科見学5年 北九州	20月	
21土		21火	マル勝まつりリハーサル②③ おはようtue(保護者)
22日		22水	浄瑠璃GT3,4年⑤⑥ 音楽GT5,6年⑤⑥
23月		23木	勤労感謝の日
24火		24金	マル勝まつり準備⑤
25水	浄瑠璃3,4年	25土	マル勝まつり(教師:一日勤務)音楽GT5, 6年
26木	砂浜集会⑤⑥	26日	
27金	マル勝タイム⑤1~3年⑥4~6年	27月	マル勝まつり代休
28土	菜の花種まき・ソバ収穫(郷づくり)	28火	
29日		29水	
30月	音楽GT5,6年②③	30木	6年修学旅行(~12/1)
31火			

勝浦小学校では、子どもの「自己有用感」の育成をめざし、教育活動を行っています。子どもの自己有用感を育成するために、以下の内容は、子どもの周りの大人にとって、重要な意識の一つだと考えます。是非ご一読ください。

### 「褒めること」と「認めること」の違いは？ ～ほめられたとき、子どもはどのように感じているか～

大人の側に見れば、この両者の違いはあっていないようなものかもしれません。「認めてあげようと思って、褒めている」「褒めることは、そのまま認めること」という感覚なのではないでしょうか。そして、多くの子供も、そんな感じで受け止めていることでしょう。とりわけ、年齢が低いほど、その差はないに等しいに違いありません。

しかし、「認めてほしい」「認めてもらいたい」と強く思っている子供には、そんな大人の言い分は通じないかも知れません。中には、「褒められてうれしくない」といった子供も出てきたりするのです。一体、何が違うのでしょうか。

大人が子供を「褒める」ときは、一般に大人の基準や水準で「褒める」ことが多いように思われます。そして、大人の側の基準で一定の水準に達した、水準を超えたと評価するのが「褒める」という行為と言えます。反対に言えば、水準に達しない場合には「頑張りなさい」と叱咤激励することはあっても、褒めることは稀(まれ)でしょう。

それに対して、子供が「認めてもらいたい」ときというのは、一般に子供の基準や水準で「褒められたい」のではない

でしょうか。子供なりのこだわりで努力したり工夫したりしたことを「認められたい」のです。だから、大人の考えた基準に達していなくても「褒めてほしい」と考えたり、大人の考えた水準に到達して「褒められた」場合でさえ、大人の基準とは異なる子供の基準でも「褒めてほしい」と考えたりするわけです。

だから、自分がさほど努力もしていない、自分の功績ではないことを、「みなさん、よく頑張りましたね」と全員を一くりにして褒められても、さほどうれしくもなく、励みにもならないのかも知れません。子供の実際の行動と向き合うことなく、表面的にお世辞を言ったり、ちやほやしたりしても、子供の「自己有用感」はおろか、「自尊感情」すら高めない可能性が大きいのです。行事に取り組む、学習に取り組む際などに、子供自身に目標や工夫する点、努力する点などを考えさせておき、その基準に沿ってどこまで達成できたのかを評価することが「認める」という行為では重要になります。それが、「自己有用感」を育むのです。単に良かった・悪かったと評価するだけの「褒める」では、「自尊感情」を育むことはできません。「自己有用感」を育むことにはなりにくいのです。

子どもの自己有用感の育成について「褒めることと認めること」文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター H27.3